

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区： 一箕地区	開催日： 令和8年5月7日(木)	開催時間： 18:30 ~ 20:10
担当班： 第4班	出席議員： 譲矢 隆、大島 智子、小畑 匠、原田 俊広、古川 雄一、石田 典男	
開催場所： 一箕公民館		
参加人数： 男性11名、 女性12名、 合計23名 (うち傍聴者：会津短大教員1名、ゼミ生4名)(他自治体等傍聴者3名)		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など		
1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について ・議会だよりは内容が細かくて見ない人が多い。5万部配られているが、コストはどのくらいかかっているのか。見直しが必要ではないか。 ・家庭ごみ処理の有料化になって間もないこともあり、不適切な排出をする方への対応を明確にしてほしいとの意見があった。 ② 市政全般(市のまちづくりに向けた課題)について バスの便が4月より10便あったものが5便となり、居合方面から西若松までの移動が困難となったとの意見があった。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ ひとみ創造ネットワークについて ② テーマ設定の理由、背景 令和5年度からスタートしたひとみ創造ネットワークの活動について、良かった事や課題など共有し、まちづくりの在り方について意見交換をしたいため。 ③ 主な地域課題 ・地区の各種委員会活動とひとみ創造ネットワークでの部会の活動が内容も含め重複している。スリム化すべきである。 ・地域の様々な会議で問題提起するが、それに対しての返答がない。 【その他の主な意見等】 ・会津若松市の子ども会育成連絡協議会(市子連)との連絡体制や支援体制が不明確である。市子連や地域の子ども会に対し、市は、今後どのように取り組もうとしているのか。 ・リーダー研修会などの申込みが子ども会へ直接届かず小学校へ届くため、子ども会として必要な情報が把握できない。 ・会津まつりの提灯行列の際に会場までの送迎バスが配車されず保護者の負担が増えている。		

会津若松市議会議長 様
令和8年5月19日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
意見交換会第4班 代表者 譲矢 隆

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※		※項目 キーワード
		分類	番号	
水道事業に関して、水道料金の見直しなどがあるのか。料金値上げの雰囲気があるように捉えたのだが水道料金が上がらないよう進めてもらいたい。	本市の水道料金収入は、東山・大戸地区を除き現在約30億円弱である。約20年前は大企業から年間約10億円の収入があったが、企業の撤退や水の再利用が進み、使用量が減少している。平成18年頃には約100人体制で運営していた水道事業も、現在は30人程度まで縮減し、民間委託を進めることで年間約1億5,000万円のコスト削減を図っている。一方、東山の水には薬剤費などがかかっている現状である。令和8年度、9年度は水道料金を精査する。人口減少や節水の進展により使用量は減少しており、水道施設の維持費は固定的に必要なため、水道事業の経営は厳しい状況にある。	○	①	水道
民営化、民間委託の話があったが市民には非常に見えにくい。人口がここまで減少し、水道料金が高いと感じている市民が増えているにもかかわらず、なぜもっと先手を打った対策をしてこなかったのかという疑問がある。問題は以前から分かっていたはずであり、改善に向けた具体的な動きが市民には見えていない。	本市の水道事業については、平成18年頃にその取組がNHKの全国放送で紹介されるなど、先進的な運営手法として全国に発信してきた経過がある。水道事業より以前には、学校給食の民間委託を実施するなど、これまでも段階的に民間活力の活用を進めてきている。水道事業についても民間委託を導入しているが、全てを民間へ丸投げしているものではない。予算編成や事業方針の決定、指示・監督は市が担っており、いわゆる第三者委託の形で運営している。運営方針については約20年前から継続して説明してきたものである。	○	①	水道

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
20年も前から取組を行ってきたにもかかわらず、それを知らない市民が多いというのが現実である。NHKで放送された、以前から説明してきたというのは行政側の認識であり、問題は現在、市民を主体としてどのように水道事業を進めていくのかという点である。	水道料2か月30立方メートルの使用で、県内13市の中で会津若松市の水道料金は残念ながら以前は3番目に安かった。現在は様々な取組がされ、6番目ぐらいに安い料金となったが、決して高い方ではない。 みずチャンネルや様々な媒体を通して市民の皆様への周知として当局はやってきたが、市民からはまだまだ分からないという話を聞いている。議会として改めて共通の認識とさせていただく。	○	①		水道
議会だよりは配布されているものの、「知らない」「読まない」「内容が分かりにくい」といった声を多く聞く。忙しくて閲覧する時間がない、市政が身近に感じられないという現状があり、発行に要するコストと効果について検証し、見直しを行う必要がある。	ご意見として伺う。	●	②		議会広報紙
少子高齢化や人口減少は長年指摘されてきた課題である。しかし、問題提起にとどまり、具体的な解決策や将来像が市民に十分に示されているとは言い難い。このままでは現状を理解しないまま高齢化が進み、地域から人が離れていくことへの強い危機感がある。	ご意見として伺う。	○	②		少子高齢化

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※		※項目 キーワード
		分類	番号	
家庭ごみ処理の有料化について、不適正排出や出し方のルール違反が頻発し、地域では大きな問題となっている。ごみ袋の支給や補助制度は理解しているが、実際の現場では排出のたびにトラブルが生じている。 問題はごみ袋を配布するなど制度そのものではなく、ルール違反に対する市の明確な対応方針が示されていない点である。 資源ごみの日に出されたごみの中に生ごみが混在していた場合は、その不適正排出ごみを数週間も放置することはできない。町内会としてどこまで対応していいのか判断できず、違反ごみを放置しても排出者が持ち帰る例は少なく、最終的に地域役員が処理せざるを得ない状況である。不適正排出者を特定した場合も、法律違反やトラブルを懸念し対応に苦慮している。 町内会への未加入者もいて、アパートがまるごと未加入の場合もある。不適正排出にはチャイルドシートなどのごみもある。それも一人だけではない。このままではいたちごっこが続くため、市として啓発・警告を含めた対応可能範囲を明確に示し、具体的な対処方針を示してほしい。	多くの方から同様の話を聞く。地域の組長から聞いた話では、不適正排出のごみが1週間前に出されたが開けるわけにいかないため、町内会を通じて市に相談したところ、「2週間は張り紙をしてそのままにしてください。2週間経っても持っていない場合は、町内会に配布された有料の指定ごみ袋に詰め替えて排出するように」と言われ、実際にごみ袋を開けたところ、瓶や缶、使用済みの大人用の紙おむつが入っていたそう。組長からは「それを片付けなければならない気持ちになってください。そして是非、議会で取り上げて問題にしてほしい。」という声を頂戴した。 市が町内会に求めている事と違う事が現実に各ごみステーションで起き始めている。この意見交換会で出た意見もきちんと持ち帰り、市に対して意見を伝えていく。	○	①	環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
不適正排出のごみについて、全然違う回答を市からもらっている。張り紙して2週間ではなく、3週間から1か月置いてくれと言われている。1か月が経ち、私が立ち合いをして袋を開けた。住所が特定できるものがあり、その人へごみを届け、有料ごみ袋に入れて出すように伝えた。 また、トラブルがあった際に使用のごみ袋が区長に届くと聞いているが来ていない。問い合わせたら6月に配布すると言われた。ごみ処理の有料化が4月から始まっているのに町内会へのごみ袋が6月から配布ということはありません。	地区によってはごみ袋が届いているところもあると聞いている。それも市へ徹底してもらおう。	○	①		環境
地域の会議に多数参加しているが、地域から出された意見や課題が、その後どのように検討され、どのような結論になったのかが見えてこない。議会へ持ち帰るとの説明だが、それで終わりにになってしまうように思う。最終的な判断や成果を知りたいという思いがあるので、ごみ問題や水道問題など、少なくとも一つでも具体的に決まった内容を示してもらえれば意見交換会に出たかいがあると感じる。議会に持ち帰るだけでなく、結果を市民へ返答することを約束してほしい。	ご意見として伺う。	●	②		意見交換会
門田地区では町内会用の有料ごみ袋が届いてとのことだったが、一箕地区には、6月から1町内30世帯分の指定ごみ袋を配布する、という内容の文書が市からきており、それまでに町内会で何枚使用したかを把握しておいてほしいという内容であった。	後日報告させていただく。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P13に記載)	環境
区長が変わったことにより、前区長に文書が届いても引き継いでいないところもある。6月から指定袋が届くことも、町内会に対応しなくてはならない事も知らない。	ご意見として伺う。	○	②		環境

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※		※項目 キーワード
		分類	番号	
議員は忙しいと思うが、直接市民に話を聞きに行く機会が少ないのではないか。足を運ぶということは大事なことである。また、発言も必ずしも多くない気がする ので、もっと発言があっていいと思う。	是非、本会議をライブ配信であつたり、YouTube配信で見えていただければと思う。議会だよりには、ほんの一部しか載っていない。	●	①	議員活動

○ 地区別テーマでの意見交換について → ひとみ創造ネットワークについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ひとみ創造ネットワークは令和6年5月に発足した。少子高齢化による地域活力の低下への危機感から、一箕地区の活性化を目的として設立した。組織は「ひとみつながり部会」、「ひとみ共生ふくし部会」、「ひとみコスキ部会」の三部会で構成し事業を展開している。令和7年度は、実施が困難であった敬老会を一箕文化創造祭に組み込み、地域全体で実施する新たな形を開始した。演奏会開催や担い手育成と地域交流を進めている。また、防災組織の立上げにも取り組んでいる。福祉分野では社会福祉協議会の支援による紅白饅頭やおせち配布などを実施した。その結果、令和7年12月の市内地域活動コンペティションにおいて、一箕地区は三部門で第1位を獲得した。	ひとみ創造ネットワークの内容がよく分かった。それぞれの部会の方たちの意見が聞けたら、他の地区の人たちや我々も勉強になるので、是非聞かせてほしい。防災関係などで、うまくいっている事や苦勞しているところはあるか。	○	②		まちづくり
一箕地区には57町内会があるが、世帯数が10世帯から600世帯と差が大きく、情報共有や意思統一が難しいことが課題である。防災分野では、市の防災計画を基に各町内でマイタイムライン作成を進めているが、導入は現在1割未満にとどまっている。今後は5割の拡大を目標としている。各町内の防災委員と区長と連携し町内の特性に応じた防災計画を作成し、段階的に進めていく予定である。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について → ひとみ創造ネットワークについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
私はひとみ創造ネットワーク共生福祉部会に所属しているが、保健委員会と活動内容が重複し、類似団体が並立している状況である。担い手が減少する中、団体の統合や役割整理による負担軽減が必要であり、同一事業を複数組織で担う現状では継続は困難である。今後は、少数精鋭と明確な司令塔による運営体制へ転換し、地域全体の課題として組織のスリム化・統合を進めるべきである。将来的には第一保健委員会をひとみ創造ネットワークへ統合すべきと考える。	確かに役員を担うと様々な団体から当て職でまた役員を担当することがある。本当に潰されそうだという話もよく伺うので、確かにそれは有効だと考える。	○	①		地域社会
ある議員が一般質問で役員の負担について質問して「組織の見直しを支援していく」との答弁が示されていた。大変重要な事であり、形式的にならず真剣に取り組んでいただきたい。現在は担い手不足が深刻である。こうした状況を踏まえ、行政においては、その進捗状況を継続的に把握し、実効性ある取組を強く求めたい。	組織にはそれぞれ成り立ちや経緯があり、統合には相応の労力を要することは理解している。しかし、将来を見据えれば、組織のスリム化は不可欠である。議会としても重要なテーマとして受け止めていきたい。	○	①		地域社会
ひとみつながり部会では、住みよくにぎわいのあるまちづくりを目的に活動している。ホームページの作成や地域活性化を目的としたゴルフ大会の開催などに取り組んできた。また、会津短期大学の教員や学生と連携し、ごみ問題を学ぶすごろくゲームの制作や地域マップ、学生向けグルメ情報づくりなどを進め、地域住民と学生が協働する新たな関係づくりが生まれている。学生の入れ替わりという課題はあるものの、ひとみ創造ネットワークを通じて世代や立場を越えた交流が広がっており、今後もこうしたつながりを大切にしながら活動を発展させたい。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について → ひとみ創造ネットワークについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
皆さんの話に感動している。一箕地区は若い人たちが住みやすい場所になっていることと、色々手助けをしてくれるコミュニティーの場があり、子育てもしやすいと感じる。 少子化という問題から、それをどうクリアして人口を増やしていくのかという着目点を変えていく時期にある。今後、会津若松市は15地区にテーマを絞り、それぞれ進めていくような形があるのか。	会津若松市には18地区があり15地区に区分している。本市では10年間を計画期間とする総合計画において15地域に、それぞれに自治組織を立ち上げることを目標としている。各地域で取り組むテーマは、地域住民が主体的に話し合い決定するものであり、市や議会が決めているものではない。議会が実施している地区別市民との意見交換会では、担当する班の議員が各地区でテーマを設定して意見交換を行っているが、地域ごとに固定されたテーマがあるわけではない。	○	①		まちづくり
包括支援の立場でひとみ共生ふくし部会に参加している。良かったことは、地域には同じ方向を向いて活動する多くの方々がいると把握できたことである。部会へ参加により、地域のために自分も役割を果たしたいという意識が高まった。各地域が共通の課題を抱えながら取り組んでおり、一箕地区は広い地域でありながら三つの部会が連携し、一定の結束力を持って活動していて誇りに思う。今後は会津全体での意見交換もしていただき、同じ課題を持つ人と意見を共有できる、点と点がつながって1つの輪になるような会津若松市を作って欲しい。	ご意見として伺う。	○	②		まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について → ひとみ創造ネットワークについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
一箕地区の子ども会が36団体から8団体となった。減少の理由としては、子ども会活動の魅力低下や、事業・研修情報が地域へ十分に届いていないことが挙げられる。リーダー研修会などの案内が子ども会へ直接届かず小学校へ届き、やりたいという子どもがいても、子ども会に入っていないとダメだという。子どもから見れば、地域に子ども会があるのかもわからない状態である。組織の仕組みや連絡体制も分かりにくい。 また、令和7年の会津まつりの提灯行列では送迎バスの手配がなくなり、保護者負担が増えるなど、支援体制の弱体化も感じられる。現在のままでは更に子ども会の減少が進む懸念がある。市子ども会育成会連絡協議会の役割や市の支援体制の現状を確認し、議会としても注視してほしい。	ご意見として伺う。	○	②		地域社会
一箕地区の藤室鍛冶屋敷線を下った先、丁字路になっている中島町の交番前交差点において、飯盛山方面からの道路には右折レーンが設置されておらず、慢性的な渋滞が発生している。重要な幹線道路であることから、渋滞緩和と安全確保のため、交差点改良(右折レーン設置等)について区長会として早急な検討を要望する。	要望を区長会長より伺った。	○	①		道路

○ 地区別テーマでの意見交換について → ひとみ創造ネットワークについて

※処理状況について：【分類】議会に関するもの「●」、市政に関するもの「○」【番号】回答(処理)済「①」、ご意見として伺った事項(含む情報提供)「②」、後日回答「③」

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況※			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
町内で太陽光発電の設置が決まったとの発言があった。パネルは約2万8,000枚で、面積は不明だが、おそらく3町分ほどでかなり広いと思う。町内では目立たない場所であることから反対者はおらず、来年頃から工事が始まる見込みとのことだった。その上で、申請をきちんと出せば必ず許可が下りるのか。風力発電のように許可がなければできないはずだが、その基準はどうなっているのか。許認可の仕組みについて確認したい。	風力発電の開発許可権限は福島県にあり、事業者が指摘事項を満たせば建設可能となる。市は住民意見や環境保全について意見を述べられるが法的拘束力はなく、制度上は事業者が進めることも可能である。太陽光発電は風力発電より手続きは少ない。風力発電は国公有地利用の場合は自治体同意が必要だが、民有地では土地所有者の権利が優先される。	○	①		環境
私は50年ほどバスを利用している。4月から居合方面から会津若松駅を通り神明通り・西若松駅へ向かうバスが、1日10便から5便へ減少した。自宅近くのバス停では、朝8時50分の次が午後2時5分まで1本もなく、大変不便な状況である。便数を見直し、増便をお願いしたい。 また、一箕のヨークベニマルへの買い物バスについても、令和7年までは往復2便あったが現在は運行されていない。冬季は徒歩での買い物が困難になるため、1日せめて1便でも運行していただきたい。マイライドどこでもバスは乗り場が遠く利用できない。	市の企画調整課で担当しており、担当課もご意見頂いた内容はよく分かっていた。バス会社にも伝えてある。 バス会社に対しては、市が補助金を出している。皆さんの税金から補助金が出ているので、これからも根気強く要望していく。	○	①		交通

市民との意見交換会・事後処理報告書

一箕地区

件名	処理(対応)内容	備考
1. 区長に届く予定のごみ袋について。(P6)	【市民からの要望・質問】 区長宛に届くはずの町内会用のごみ袋は6月に配布予定との連絡がきている。議員の発言の中で、門田地区には届いているとあった。地域によって違うのかを確認することになった。 【事後処理結果】 門田地区でも、一箕地区同様に6月配布となっていた。現在は区長が自らごみ袋を購入し、組長へ配っていたことが分かった。	

会津若松市議会議長 様

令和8年5月29日

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎
意見交換会第4班 代表者 譲矢 隆